

# 南アジア株式ファンド

愛称:ムガールの光

追加型投信/海外/株式

## 交付運用報告書

第6期(2021年9月10日決算)

作成対象期間(2020年9月11日~2021年9月10日)

第6期末(2021年9月10日)	
基準価額	10,067円
純資産額	450百万円
騰落率	35.6%
分配金合計	0円

(注)騰落率は、税引前の分配金が分配時に再投資されたものとみなして計算しています。

### 受益者の皆様へ

平素は「南アジア株式ファンド」(以下、「当ファンド」という場合があります。 )にご投資いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、当ファンドは、第6期決算を行ないました。当ファンドは、南アジア諸国の企業の株式を主要投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、実質的に南アジア諸国の企業の株式に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行なっております。当期につきましても運用の基本方針に沿った運用を行ないました。期中の運用状況につきまして、ご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

## PayPayアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区神田錦町一丁目1番地

サポートダイヤル

0120-580446

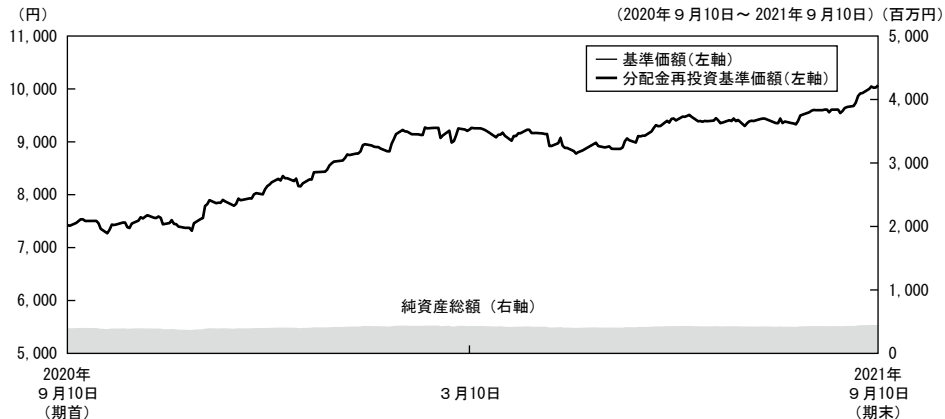
〈受付時間〉営業日の午前9時~午後5時

<https://www.paypay-am.co.jp>

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を電磁的方法(投資信託及び投資法人に関する法律第14条第2項に規定する電磁的方法をいいます。)により提供する旨を定めております。上記「サポートダイヤル」に記載の弊社ホームページの「ファンド情報」のページより当ファンドの運用報告書(全体版)を閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

## 《運用経過》

## 【基準価額等の推移について】



第6期首：7,426円

第6期末：10,067円 (既払分配金 0円)

騰落率：35.6% (分配金再投資ベース)

## ■基準価額の主な変動要因

南アジア諸国の企業の株式を主要投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、実質的に南アジア諸国の企業の株式に投資を行ないました。南アジアの株式市場が堅調に推移し、基準価額は大きく上昇しました。欧米の株式市場が軟調に推移したことなどをを受けて期の初めは南アジアの株式市場は概ね横ばいで推移しました。また、2021年春にインドで新型コロナウイルスの変異株の感染が拡大した場面などでは上値の重い展開となりましたが、世界的なリスク選好の動きなどから南アジアの株式市場は総じて堅調に推移しました。国別では、インドの上昇が目立ちました。また、南アジアの通貨は、スリランカ・ルピーは円に対して下落しましたが、その他の通貨が小幅に上昇し、全体では基準価額のプラス要因となりました。

\* 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金が分配時に再投資されたものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。なお、分配を見送らせていただいた場合は、分配金再投資基準価額と基準価額は同じとなります。

\* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

## 【1万口当たりの費用の明細】

項 目	第6期		項 目 の 概 要
	(2020.9.11~2021.9.10)		
	金 額	比 率	
信託報酬	111円	1.265%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率。期中の平均基準価額（月末値の平均値）は8,736円です。
（投信会社）	(38)	(0.440)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(67)	(0.770)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(5)	(0.055)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
その他費用	22	0.246	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(1)	(0.016)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（法定開示に係る費用）	(20)	(0.230)	印刷会社等に支払う目論見書、運用報告書等の作成、印刷、交付等に係る費用
合 計	133	1.511	

\* 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

\* 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

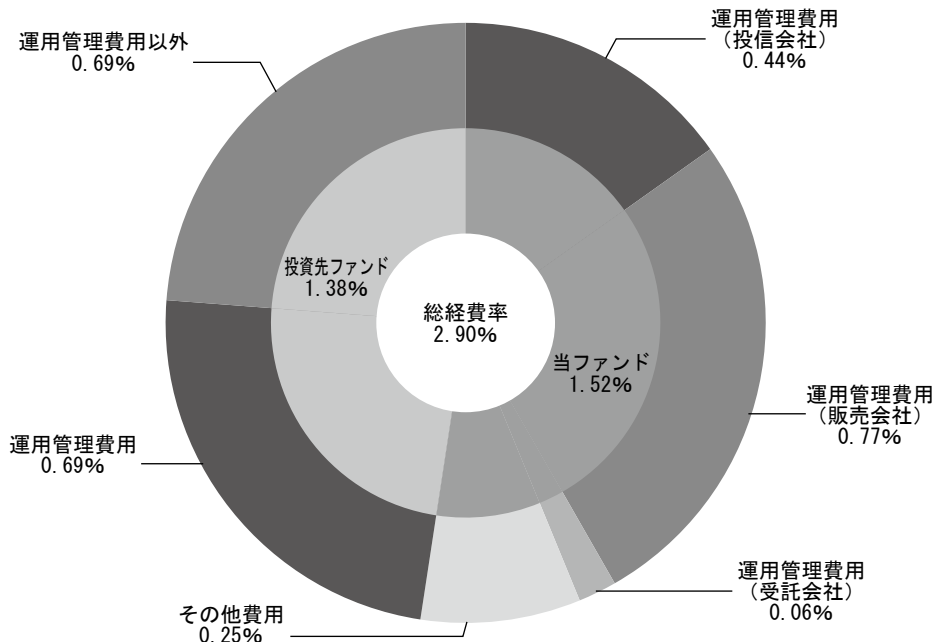
\* 「金額」欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\* 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

■ 総経費率

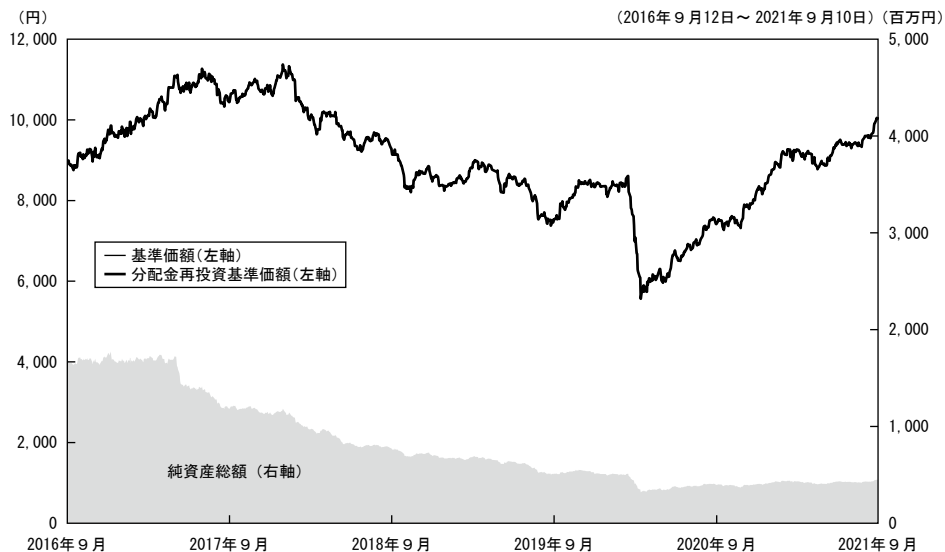
当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.90%です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	2.90
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.52
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.69
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	0.69

- \*①の費用は、1万口当たりの費用の明細において用いた簡便法により算出したものです。
- \*各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
- \*各比率は、年率換算した値です。
- \*投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
- \*①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
- \*①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なります。
- \*上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 【最近5年間の基準価額等の推移について】



\*分配金再投資基準価額は、税引前の分配金が分配時に再投資されたものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
なお、分配実績がない場合は、分配金再投資基準価額と基準価額は同じとなります。

\*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2016年9月12日	2017年9月11日	2018年9月10日	2019年9月10日	2020年9月10日	2021年9月10日
基準価額 (円)	8,996	10,439	9,299	7,455	7,426	10,067
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	16.0	△10.9	△19.8	△0.4	35.6
純資産総額 (百万円)	1,678	1,183	774	505	398	450

\*当ファンドは、特定の指数を上回るまたは連動することを運用の基本方針とはしていないため、該当するベンチマーク等はありません。

## 【投資環境について】

当期の南アジアの株式市場は、大幅に上昇しました。中国の半導体受託生産最大手に対し米国が禁輸措置を検討との報道が嫌気されたことなどから大型のテクノロジー関連銘柄を中心に米国の株式市場が下落し、期の初めの南アジアの株式市場は上値が重い展開となりました。しかし、業績見通しの改善や景気底入れ期待を背景にインドの株式市場が相対的に堅調であったことから下値も限定的でした。2020年11月以降は、新型コロナウイルスのワクチン開発や接種開始などが好感されて世界的な株高が進んだことなどを背景に上値を追う展開となりました。その後、新型コロナウイルスの変異株の感染拡大によりインドの主要都市がロックダウン（都市封鎖）された場面などでは上値の重い展開となりましたが、世界経済の正常化期待などを背景としたリスク選好の動きなどから南アジアの株式市場は上昇基調が継続しました。

## 【ポートフォリオについて】

当ファンドは、南アジア諸国の企業の株式を主要投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、実質的に南アジア諸国の企業の株式に投資を行なうことを基本としています。

南アジア諸国の企業の株式を主要投資対象とする投資信託証券（シンガポール籍の外国投資信託である「フィリップ・グレイター・インディア・エクイティ・ファンド」をいいます。）の組入比率は、期を通じて概ね90%台で推移させました。フィリップ・グレイター・インディア・エクイティ・ファンドにおいては、インド、バングラデシュ、パキスタン、スリランカの企業の株式を中心に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長を目指しました。また、余剰資金については、わが国の短期公社債を主要投資対象とする投資信託証券（親投資信託である「IIP日本債券マザーファンド」をいいます。）への投資を通じて、実質的にわが国の短期公社債に投資を行ないました。

## 【ベンチマークとの差異について】

当ファンドは、特定の指数を上回るまたは連動することを運用の基本方針とはしていないため、該当するベンチマーク等はありません。

## 【分配金について】

収益分配金(1万口当たり、課税前、以下同じ)については、基準価額の水準や分配原資の積み上がり状況等を勘案し、分配を見送らせていただきました。なお、収益分配に充てなかった利益につきましては、信託財産内に留保し元本部分と同一の運用を行ないます。

### ■分配原資の内訳(1万口当たり)

項 目	第6期	
	2020年9月11日 ～2021年9月10日	
当期分配金(税込み)	-円	
(対基準価額比率)	-%	
当期の収益	-円	
当期の収益以外	-円	
翌期繰越分配対象額	490円	

- \* 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益(評価益を含む)」から分配に充当した金額です。
- また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- \* 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下を切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
- \* 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## 《今後の運用方針》

今後も南アジア諸国の企業の株式を主要投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、実質的に南アジア諸国の企業の株式に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長を目指してまいります。また、余剰資金については、わが国の短期公社債を主要投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、実質的にわが国の短期公社債に投資を行ないます。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

## 《お知らせ》

委託者の商号変更に係る投資信託約款の変更を2021年3月8日付で行ない、同日付で適用いたしました。

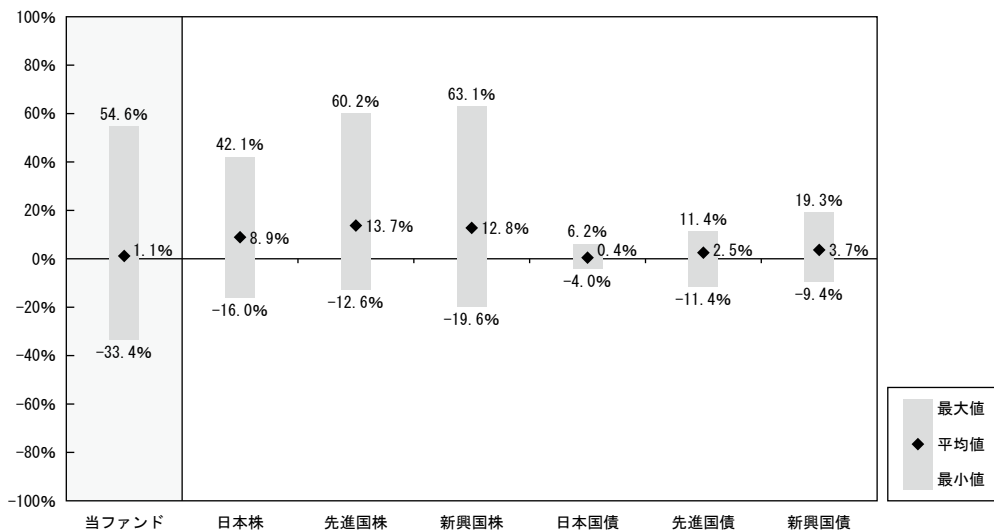
## 《当ファンドの概要》

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2025年9月10日までとします。ただし、元本金額が10億円を下回った場合などはファンドを終了（繰上償還）させる場合があります。
運用方針	この投資信託は、中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないます。
主要投資対象	主として、投資信託証券（金融商品取引法第2条第1項第10号に規定する投資信託及び外国投資信託の受益証券並びに同項第11号に規定する投資証券及び外国投資証券をいいます。）に投資を行ないます。
運用方法	<p>①南アジア諸国の企業の株式を主要投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、実質的に南アジア諸国の企業の株式に投資を行ないます。余剰資金については、わが国の短期公社債を主要投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、実質的にわが国の短期公社債に投資を行ないます。</p> <p>※この投資信託において、南アジア諸国とは、南アジア地域協力連合（South Asian Association for Regional Cooperation）加盟国をいいます。</p> <p>※南アジア諸国の企業の株式を主要投資対象とする投資信託証券及びわが国の短期公社債を主要投資対象とする投資信託証券とは、この投資信託においては、別に定める投資信託証券に限るものとします。なお、別に定める投資信託証券は、投資対象市場の動向等を勘案し、委託者の判断により変更となる場合があります。</p> <p>*別に定める投資信託証券</p> <p>別に定める投資信託証券は次のものをいいます。</p> <p>南アジア諸国の企業の株式を主要投資対象とする投資信託証券</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シンガポール籍外国投資信託フィリップ・グレイター・インディア・エクイティ・ファンド</li> </ul> <p>わが国の短期公社債を主要投資対象とする投資信託証券</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親投資信託 I I P 日本債券マザーファンド</li> </ul> <p>②南アジア諸国の企業の株式を主要投資対象とする投資信託証券の投資割合は、原則として高位を保ちます。</p> <p>③外貨建資産（投資信託証券を通じて実質的に組入れる外貨建資産を含みます。）については、原則として為替ヘッジを行ないません。</p>
分配方針	<p>①毎決算期に収益の分配を行なう方針です。ただし、基準価額の水準や市場動向等を勘案して収益の分配を行わない場合もあります。</p> <p>②分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。</p> <p>③信託財産に留保した収益の運用については、特に制限を設けず、「基本方針」および「運用方法」に基づき元本と同一の運用を行ないます。</p>



## 〈 参 考 情 報 〉

## ◆代表的な資産クラスとの騰落率の比較



・上記は、2016年9月から2021年8月の5年間ににおける1年騰落率の最大・最小・平均を代表的な資産クラスについて表示したものです。

・各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガンGBP-EMグローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

※騰落率は直近前月末から60ヶ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

## 《ファンドデータ (2021年9月10日現在)》

## 【当ファンドの組入資産の内容】

## ■組入(上位)銘柄

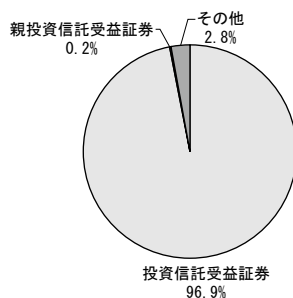
(組入銘柄数：2銘柄)

銘柄名	比率(%)
フィリップ・グレイター・インディア・エクイティ・ファンド	96.9
I I P 日本債券マザーファンド	0.2

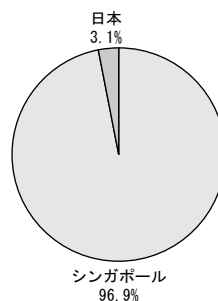
\*比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

\*全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

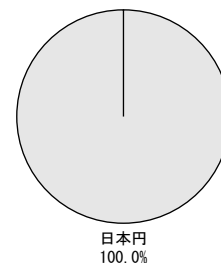
## ■資産別配分



## ■国別配分



## ■通貨別配分



\*比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

## 【純資産等】

項目	第6期末
	2021年9月10日
純資産総額	450,391,881円
受益権総口数	447,405,209口
1万口当たり基準価額	10,067円

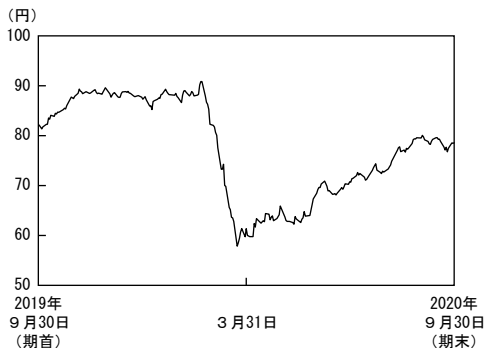
\*当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は88,709,510円です。

## 【組入上位ファンドの概要（2020年9月30日現在）】

## ◆フィリップ・グレイター・インディア・エクイティ・ファンド

(計算期間 2019年10月1日～2020年9月30日)

## ■基準価額の推移



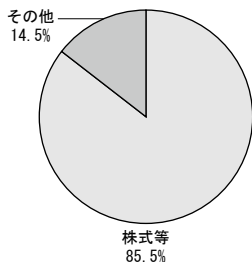
## ■組入(上位)銘柄

(組入銘柄数: 17銘柄)

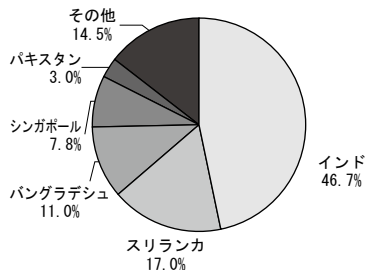
順位	銘柄名	比率(%)
1	Ascendas India Trust	7.8
2	Access Engineering Public Listed Company	7.8
3	Britannia Industries Limited	7.1
4	HDFC Bank	6.9
5	Info Edge India Limited	6.8
6	Narayana Hrudayalaya Limited	6.7
7	Square Pharmaceuticals Limited	6.7
8	ICICI Bank Limited	6.0
9	ITC Limited	5.1
10	Commercial Bank Of Ceylon Public Listed Company	4.5

\*比率は、純資産総額に対する比率です。

## ■資産別配分



## ■国別配分



\*資産別配分、国別配分は、純資産総額に対する比率です。

\*通貨別配分は、取得できないため記載していません。

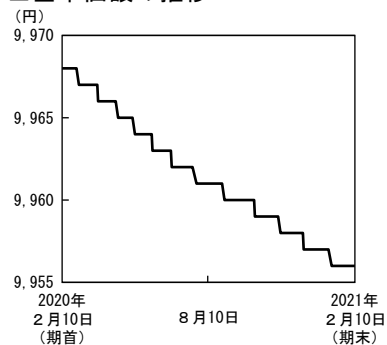
## ■1万口当たりの費用の明細

直近計算期間末時点における「1万口当たりの費用の明細」が取得できないため記載していません。

【組入上位ファンドの概要（2021年2月10日現在）】

◆ I I P日本債券マザーファンド（計算期間 2020年2月11日～2021年2月10日）

■ 基準価額の推移



■ 組入(上位)銘柄

(組入銘柄数：11銘柄)

	銘柄名	比率(%)
1	第949回国庫短期証券	21.4
2	第962回国庫短期証券	21.3
3	第958回国庫短期証券	20.9
4	第939回国庫短期証券	7.2
5	第955回国庫短期証券	6.8
6	第970回国庫短期証券	5.7
7	第951回国庫短期証券	5.6
8	第935回国庫短期証券	5.2
9	第942回国庫短期証券	1.6
10	第964回国庫短期証券	1.6

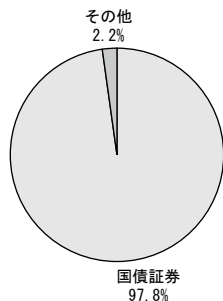
\*比率は、I I P日本債券マザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

\*全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

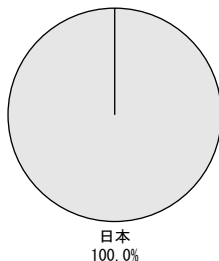
■ 1万口当たりの費用の明細

計算期間中に発生した費用はありません。

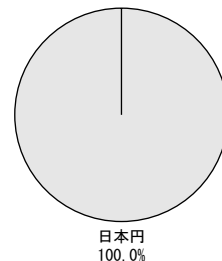
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



\*比率は、I I P日本債券マザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。